

第 3 回 ドローンプログラミングチャレンジ全国大会 in 白浜 開催要項

ドローンプログラミングチャレンジ in 白浜 実行委員会

1. 目的 ドローンによるコース飛行や画像認識といった課題をプログラミングによって解決し、中高生の技術力・創造力を育むとともに、科学や工学、そして宇宙への興味と関心を高める。
2. 日時 2026 年 1 月 31 日（土）11 時 ～ 2 月 1 日（日）13 時（大会後、昼食あり申込者）
3. 主催 ドローンプログラミングチャレンジ in 白浜 実行委員会
 共催 クオリティソフト株式会社 株式会社 大塚商会 和歌山県宇宙教育研究会
 協賛 レノボ・ジャパン合同会社 エレコム株式会社
 後援 和歌山県教育委員会 田辺市教育委員会 和歌山市教育委員会
 朝日新聞和歌山総局株式会社 テレビ和歌山 株式会社和歌山リビング新聞社 産経新聞社
 ニュース和歌山株式会社 毎日新聞和歌山支局 読売新聞和歌山支局 わかやま新報
 一般社団法人南紀串本観光協会 和歌山ロケット応援団 NHK 和歌山 FM TANABE
 紀伊民報 熊野新聞 以上 依頼予定
 事務局 和歌山県立向陽高等学校 教諭 有田 啓介
4. 会場 クオリティソフト株式会社 和歌山県西牟婁郡白浜町中 1 7 0 1-3
 ・大会本会場 クオリティソフト内
 ・宿泊会場 宿泊棟（生徒・引率教員） シャトレ（運営スタッフ）
 ※駐車場は予約不要です。（無料） ※シャトレは本会場から離れています（車で 10 分）

5. 日程 1 月 31 日（土）

時間	内容
11:00～11:20	開会式
11:20～12:00	ドローンの調整
12:00～13:00	昼食
13:00～14:15	ドローンの調整
14:30～	ラウンド 1（大会）
17:30～19:00	夕食交流会

2 月 1 日（日）

時間	内容
7:00～8:00	朝食
8:30～9:15	ドローンの調整
9:30～	ラウンド 2（大会）
12:30～13:00	講評・結果発表・表彰・閉会式

※1 月 30 日（金）夕方からスタッフによる準備あり

6. 参加要件 ① 1 校につき 1 チームのみとし、複数エントリーは認められない。
 ② チームは同じ高校（中学校）の生徒で構成するものとし、原則 1 チーム 3 名とする。
 ③ プログラミング言語は Python とする。
 ④ 事前講習会（オンライン開催 アーカイブの視聴も可）を受講すること。
7. 申込方法 和歌山県内の高校は申込書に必要事項を入力し、メールで申し込んでください。
 申込書は和歌山県宇宙教育研究会の HP からダウンロードしてください。
 和歌山県外の高校は申込前に参加希望の旨をメール連絡してください。
 （送信先アドレス） arita-k001@wakayama-c.ed.jp [向陽高等学校 教諭 有田 啓介]
8. 申込期間 2025 年 12 月 1 日（月）～2025 年 12 月 10 日（水）
9. 審査内容 A～D までの 4 つのゾーンに設定された課題（ミッション）をドローンが飛行しながらクリアしていく加点方式（詳細は裏面を参照してください）
10. 表彰 優勝（1 位） 準優勝（2 位） 入賞（3 位） 入選（4 位） 奨励賞（5 位）

優勝校には賞状、盾、景品が授与されます。2 位以下は賞状が授与されます。

11. 参加費用 宿泊費と食費は自己負担となります。

12. 事前講習会 ドローンプログラミングの事前講習会（オンライン）をおこないます。本大会に参加予定の学校は必ず受講してください。アーカイブも残ります。

第 1 回 12 月 18 日（木）17 時～19 時（オンライン）

第 2 回 1 月 8 日（木）17 時～18 時 30 分（オンライン）

第 3 回 1 月 17 日（土）10 時～15 時 クオリティソフト株式会社（白浜）にて

13. 当日持物 PC（Core i3 以上推奨）、ドローン（tello を想定しています）、ドローンのバッテリー
宿泊の用意（宿泊の場合）、メジャー、筆記用具

※宿泊者には 31 日（土）昼食から 1 日（日）昼食までを準備可能です。

30 日（金）より宿泊の場合は 1 日（土）の朝食も準備します。（食費はすべて自己負担）

※アレルギーが有る場合は申込書の所定の欄に記載してください。

※宿泊アメニティは用意有（ドライヤーも）

※ドローンバッテリーは貸出分もありますが各校でも用意してください。

※大会中はビブスが貸与されますので着用してください。

※メディア承諾書は所定の用紙に記入の上、保護者の方の押印が必要です。

14. その他 新聞やテレビの取材が入ります。競技順は当日発表します。

宿泊は部屋数に限りがあるため、引率教員やスタッフは相部屋となります。

当日は進行表を掲示しますので、確認してください。

ドローンはプロペラガードを着用してください。（tello は標準装備のもので可）

国内旅行保険等の必要があれば各自で加入してください。

31 日（土）の夕食は生徒及び教員参加の交流会となります。（参加費無料）

15. 問合わせ先 和歌山県立向陽高等学校 教諭 有田啓介

Tel 073-471-6163 メール arita-k001@wakayama-c.ed.jp

（審査内容）本会場であるクオリティソフト株式会社 東館に A～D までの 4 つのゾーンが設けられ、それぞれに下記のような課題（ミッション）が設定されています。プログラミングドローンの飛行によって各ミッションをクリアしてください。

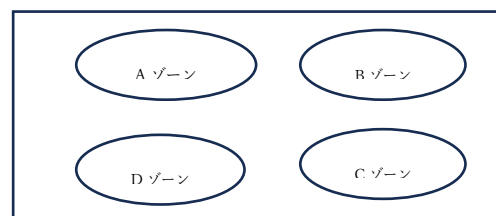
A	スタートゾーン	スタートゾーンからの脱出
B	フラフープゾーン	設置されたフラフープを通過
C	色認識ゾーン	オブジェクトを色認識し右折・左折を判断
D	ゴールゾーン	ゴールポイントへの着陸

ミッションクリアごとに点数が加点されます。

1 ラウンドに 1 回の挑戦が認められます。

審査については審査長に必ず従うようにしてください。

※審査内容の詳細は事前講習会で説明します。



（改訂履歴）

2026/01/06 日程の時間について 事前講習会について改訂

2026/01/07 （審査内容）について時間の部分を削除